

日根小だより



令和7年1月24日(金)

文責：校長 飯田 恵子

初春の候、保護者の皆様や校区の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本校の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、1月18日(土)に生涯学習センターで教育委員会表彰式が行われ、本校は、学力向上に顕著な功績をあげたことで表彰されました。全国学力・学習状況調査において、平均正答率が全国と比較して良い結果であったということです。これは、6年生の頑張りでもありますが、学校として子どもたちにつけたい力を明確にして、地道に取り組んできたことが功を奏したと考えています。これからも、子どもたちと向き合いながら、授業づくり・仲間づくりに取り組んでまいります。

また、「早寝、早起き、朝ごはん!」を合い言葉に、生活リズムを整えるサポートをしています。6年生は、小学校生活を悔いのないよう過ごす大切な時期です。一人ひとりが目標に向かって頑張っている姿を下級生に示してくれることを期待しています。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

はやね はやおき
あさごはん ☺
zzzzz...



ぐっすりひねのん

【1月下旬の行事予定】

- 25日(土) 土曜授業 11時35分下校
PTA委員会 制服リサイクル販売
- 27日(月) 社会見学(3年)
- 29日(水) 佐野支援学校作品展(2・4年)
- 30日(木) スケート体験(4年2クラス)
セカンドステップ(1年)
- 31日(金) セカンドステップ(1年)

- 10日(月) セカンドステップ(3年)
- 11日(火) 建国記念の日
- 13日(木) セカンドステップ(3年)
小中段差解消の取組み(6年)
- 18日(火) 社会見学(4年)
家庭教育学級
- 21日(金) 小学校体験入学(新入生)
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 26日(水) 市内一斉パトロール

【2月の行事予定】

- 1日(土) SANO リンピック
- 3日(月) セカンドステップ(2年)
- 4日(火) 児童朝礼
- 5日(水) 小学校入学説明会(14時~)
1年生13時下校
- 6日(木) セカンドステップ(2年)
- 7日(金) 授業参観(午前) 案内配付済み

*ご家族の方は名札着用のご協力をお願いいたします

*午後は、教職員研修のため授業カット



青少年指導員会、更生保護女性会、民生児童委員会をはじめ地域の皆様、毎朝のあいさつ運動や登下校の見守り活動に、いつもご協力をいただき、ありがとうございます。

【研究コーナー】 ‹ 情報活用能力の育成に向けて ›

1人1台端末が導入されて数年が経過しました。子どもたちは、基礎的な操作を学びながら、調べ学習や発表活動などに積極的に活用できるようになってきました。図工では、カメラを使って作品の見本を見やすく共有し、完成した作品を写真にとり全体に見せたりします。理科や生活では、観察したものを撮影し、スケッチの際に役立ったりしました。黒板とテレビの両方を用いて発表を行う練習もしました。体育の運動の様子を録画し共有することで、改善点を理解し、次回に活かそうとする姿を見ることもできました。意見交流の場では、自分たちで構成を考えスライドを用いて発表用資料を作りました。算数では、反復練習をする手段として学習サイトを用いました。



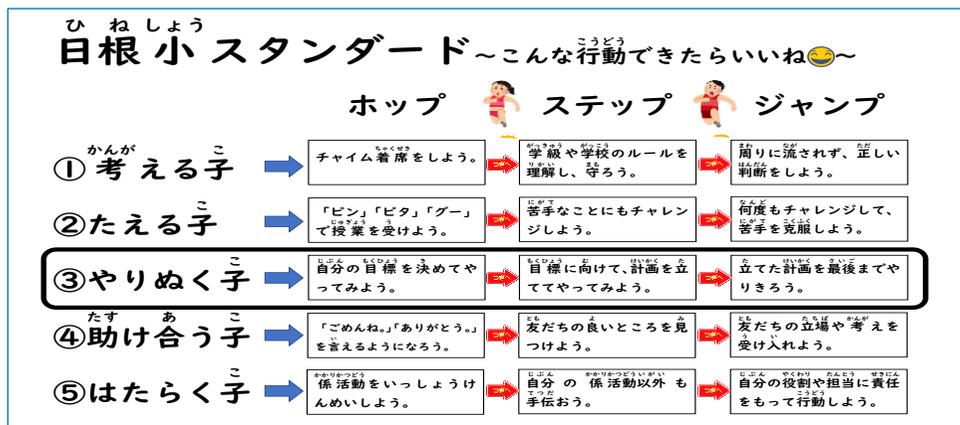
自分の端末があることで習熟度に応じた教材を選択し、自主的に学びを深めることができます。一方で、友だちと協力し合い、分からないことを分かることに変えていく手段として活用することもできます。さまざまなメリットを子どもたちと確認し合い、教職員も学び続けています。

【生徒指導コーナー】 ‹ 日根小スタンダード「やりぬく子」 ›

3学期の始業式で、子どもたちががんばって欲しいこと3点について話しました。

1. 目標を決めて目標に向かってがんばること
2. 自分の周りにいる友だちや仲間を大切にすること
3. 今の学年のまとめをしっかりとて次の学年につなげること

特に1.については、日根野小スタンダードの「やりぬく子」の内容になります。お家でも自分の決めた目標について実行できているか、確認をお願いいたします。



【人権コーナー】 《 識字学習を行いました 》

5年生は、初めて「識字」という言葉と出会いました。子どもたちは、「読めない」とはどういうことなのかを想像することが難しい様子でした。外国の文字で書かれたメニューを使って、まずは文字が読めない体験をしました。外国語で書かれたメニューだけが配られたときは、「注文できない」「不安」「何がくるかわからないから怖い」と、素直な気持ちを表していました。体験を通して、文字が読めない不安感や文字がわかることの喜び、安心などを感じた様子でした。

世界の識字率と日本の識字率について学習した際は、「思ったより低かった」「日本でも100%じゃないんだ」と自分たちにとっての当たり前が必ずしも全体にとっての当たり前ではないということに気づきました。動画や絵本を通して、「ひらがな日記」の作者である吉田一子さんについて学習していくことで、困難さに立ち向かい努力することの大切さを考えることができました。また、自分の今の環境に感謝しようとする姿も見られました。振り返りでは、「自分だったらあきらめてしまうかも。努力を続けられるのはすごい」「自分が当たり前と知っていることは当たり前ではないと改めて感じた」「自分は落書きなどせず文字を大切にしていきたい」「学習できることに感謝したい」など識字の大切さを理解し、感謝して今後につなげようとする思いをもつことができていました。



< 1年「じぶんで チャレンジ 大きくせん！」 >

生活科で、『じぶんで チャレンジ 大きくせん』という学習を2学期からしています。

少しずつ自分のことは自分でできるようになっていこうと、2学期は学校で上靴洗いに取り組みました。また、自分にできることを増やしていこうと自分ができる家庭でのお手伝いにも挑戦しました。家族のために自分ができることを考え、「くつならべやったら、毎日できそう」「道徳の時間にお風呂掃除のお話あったけど、私たちでもできるのかなあ？」と班の友だちと家での仕事について交流しました。その中で、冬休みの頑張りカードを振り返り「1回だけだと簡単だけど、続けるってしんどい」「これ毎日してるって、おとなってすごいなあ」などの感想がありました。冬休みが終わっても、チャレンジを続けている子どもたちもいました。

この学習を通して、自分自身が家族のためにできることを考え、がんばって仕事をしたらよろこんでくれた、ほめてもらえたという経験から、家庭での生活は互いに支え合っていることを理解し、自分の役割を果たしていこうという気持ちが育つことを願っています。



< 3年「車いす体験をしました！」 >

社会福祉協議会の方に来ていただき、体育館で車いす体験をしました。ジグザグの道・狭い道・段差のある所などのコースを車いすで移動したり友だちが乗っている車いすを押ししたりしました。車いすを押し介助者の体験では、「進む前に、忘れず声をかけた」「段差を上げるのが難しかった」などの感想がありました。また、補助犬のことや、町にある障がいに関わるマークについても教えていただき、「町で困っている人がいたら、声をかけたい」と子どもたちは考えるようにもなりました。

「障がい」について学習し、誰もが得意なこと、不得意なこと、できること、苦手なことがあるということに気づきました。

「障がい」について学ぶことは、障がいのある・なしに関わらず、わたしたちみんなが、より生活しやすい社会にしていこうための考え方や方法を学ぶことでもあります。一人ひとりがかけがえのない存在であることを知り、日常生活において自分のことも相手のことも大切にしてほしいと思います。



< 5年「自分たちで企画したミニ運動会・発表会！」 >

実行委員会を立ち上げ、ミニ運動会と発表会を行いました。

ミニ運動会は、綱引き・玉入れ・ドッジボールの3種目で競い合いました。各クラスから実行委員を募り、実行委員会議を経て、実施種目やルール、時間配分などを考えました。ミニ運動会当日は、どのクラスも素晴らしいチームワークを発揮し、楽しく活動することができていました。最後に、校長先生から表彰をもらい、充実した時間を過ごしました。



また、発表会では、各クラスで出し物を決めました。歌や劇、クイズなど、どのクラスも工夫を凝らした内容を発表しました。子どもたちからは、「他のクラスの出し物を見ることができてよかった」「練習が大変だったけれど、本番で成功できて嬉しかった」などの感想がありました。



自分たちで行事をつくっていくことを通して、企画力や創造力を育てていくことができました。うまくいったことや難しかったことを振り返り、今後に活かして行ってほしいと願っています。